

平成22年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

<b>施設名称</b>		〔29〕 東京都台東区立老人保健施設千束				
<b>指定管理者の名称</b>		公益社団法人地域医療振興協会		<b>指定期間</b>	H21. 4. 1 ~ H31. 3. 31	
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
(1) 業務内容	全国のへき地を中心とした地域保健医療の調査研究及び地域医学知識の啓蒙と普及を行うとともに、地域保健医療の確保と質の向上等住民福祉の増進を図り、もって、地域の振興に寄与する。					
(2) 類似施設の管理実績	病院（20箇所）、診療所（14箇所）、その他（15箇所）					
(3) 経営状況	21年度 収入額 64,317,185,951円 支出額 63,383,970,545円 収支差額 933,215,406円					
<b>2. 施設の概要</b>						
(1) 所在地	台東区千束3-20-5					
(2) 設置目的	介護を必要とする高齢者等に対し、福祉と保健医療とにわたるサービスを提供することにより、高齢者等の福祉の向上を図る。					
(3) 利用者	病状が安定し、治療よりは看護や介護に重点を置いたケアが必要な要介護者					
(4) 開館日・時間	通年、24時間					
(5) 規模	延床面積：17,328㎡（うち老健部分5,205㎡）鉄筋コンクリート造、免震構造 入所定員：150床（一般100床・認知症50床）、通所リハビリ：1日40人					
(6) 人員体制	103名 内訳…事務員（常勤3、非常勤2）、介護職員（常勤52、非常勤8）、看護職員（常勤17、非常勤1）療法士（9）、薬剤師（1）、栄養士（1）、MSW（4）、医師（2）、運転手（非常勤3）					
<b>3. 事業（サービス提供）の概要</b>						
(1) 委託事業	施設サービス計画の作成、回診、機能訓練、健康管理、介護（入浴、排泄）、食事の提供、季節行事、地域・ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓、その他環境整備。等					
(2) 自主事業	自主事業は行っていない					
<b>4. 予算決算の推移</b>						
		<b>17年度</b>	<b>18年度</b>	<b>19年度</b>	<b>20年度</b>	<b>21年度</b>
予算	委託料（21年度から）	118,676,000	108,660,000	95,774,000	104,035,000	84,602,000
	料金収入等	251,033,000	262,112,000	263,681,000	264,956,000	608,332,000
	管理経費	369,709,000	370,772,000	359,455,000	368,991,000	692,934,000
決算	委託料（21年度から）	121,311,000	108,660,000	83,589,635	101,767,129	113,143,100
	料金収入等	269,880,176	271,601,109	278,389,373	278,913,615	528,068,691
	管理経費	343,605,338	348,785,744	340,218,519	380,680,744	652,962,270
	収支	47,585,838	31,475,365	21,760,489	0	-11,750,479
<b>5. 施設の稼働状況等（活動指標）</b>						
<b>指標名称</b>		<b>単位</b>	<b>18年度</b>	<b>19年度</b>	<b>20年度</b>	<b>21年度</b>
介護老人保健施設・短期入所療養介護定員		人	50	50	50	150
通所リハビリテーション定員		人	20	20	20	40
<b>6. 成果指標</b>						
<b>指標名称</b>		<b>単位</b>	<b>目標値 (23年度)</b>	<b>19年度</b>	<b>20年度</b>	<b>21年度</b>
老人保健施設・ショート利用率		%	95.0	93.8	86.5	63.0
通所リハ利用率		%	85.0	82.9	81.3	54.4

※平成20年度以前は他の指定管理者による管理運営

## 7. 前年度からの取組

21年度からの指定のため、前年度評価を実施していない。

## 8. 評価項目

3：協定等の水準を上回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。  
 0：協定等の水準を下回っている。  
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.0]	(a) 施設の目的達成 [2] (b) サービス水準 [2] (c) 職員配置 [2] (d) 職員研修 [2] (e) 案内・接遇 [2]	(f) 開館時間等の遵守 [2] (g) 自主事業の成果 [-] (h) 個人情報保護 [2] (i) 緊急時対応マニュアル [2] (j) 警備・防犯体制 [2]		
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検 [2] (b) 備品の管理 [2] (c) 清掃・衛生管理 [2] (d) 施設の修繕 [2]	(e) 危険箇所等の確認 [2] (f) 管理記録の作成・保存 [2] (g) 業務委託の事前承認 [2] (h) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]		
(3) 利用者の満足度 平均 [1.8]	(a) 利用者・第三者機関の評価 [2] (b) 苦情・要望への対応と報告 [2] (c) 利用者数の目標達成 [1]	(d) 利用しやすい環境整備 [2] (e) 関係団体・地域との関わり [2]		
(4) 歳入歳出 平均 [1.8]	(a) 適正な予算執行 [2] (b) 経費削減のための取組み [2]	(c) 収支計画の達成 [1] (d) 利用料等の徴収・管理 [2]		

## 9. 評価

S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の視点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	施設の設置目的に沿い、業務水準や協定に基づいた事業運営が適切に行われている。
(2) 施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理について、業務水準や協定に基づき適切に実施されている。
(3) 利用者の満足度	B	開設初年度という条件ではあるが、年間利用率が当初計画に達することが出来なかった。また、定期的な利用者満足度調査の実施も必要である。
(4) 歳入歳出	B	当初の低利用率の影響により、当初計画の利用料金の収入に至っていない。21年度末時点で、利用率が回復したが、計画に沿った利用料金の増収を図ることが求められる。

## 10. 総合評価

良好 妥当 要努力 要改善 不適

### 要努力

利用者数は当初想定数を上回っているが、年間利用率や収支状況は当初計画に至っていないことから、目標達成に向けた施設運営が求められる。

## 11. 評価結果への対応

開設当初より、利用者数も増加し、年度末には概ね当初の目標を達成した。今後も継続して、料金収入の増収、経費の縮減、サービスの向上に努め、利用者から高い評価を得られる施設運営を目指していく。